

平成30年司法試験 合格体験記

平成29年度修了（既修コース） 藤田 朋香

私は九州大学法学部を卒業し、九州大学法科大学院を修了し、3回の司法試験受験後、受験資格を失い、岡山大学法科大学院に入学させていただき、修了後1回目の試験で合格しました。長い受験生生活の中、受験をやめるべきかと考えたこともありました。しかし、岡山大学に入学させていただき、先生や先輩方の熱心なご指導や、励ましのお言葉、資料室や教務の方の温かいご支援を受け、友人と一緒に励まし合いながら勉強する中で、初志貫徹しようと思ひ頑張ることができました。

勉強をする環境は本当に重要だと思います。岡山大学は少人数で先生や職員の方との距離が近い学校です。私は岡山大学に来て、温かい雰囲気勉強をすることができることがとても有難いと感じていました。勉強中は苦しくて余裕が無くなってしまいます。岡山大学では、苦しいときに先生、資料室、教務の方や先輩、友人に何でも話すことができました。その度に先生方はお忙しいにも関わらず、ご自分の時間を割いてくださいました。勉強面以外でも温かなサポートがあることは合格のためにはとても重要で、合格後どんな法曹になるべきか考える心の余裕を得ることができ、合格のためだけではなく、将来的にも大切なことだと思います。

今回、私が合格することができたのは、このような温かな環境を作ってくださった岡山大学で出会った多くの方のおかげだと思っています。今後は日々感謝の気持ちを忘れず、皆様に御恩をお返しできるような人間になれるよう引き続き頑張りたいと思います。

受験生の方へ、合格するためにはたとえ勉強量が人より多くても、独りよがりでは方向性が試験に一致しない限り、間違っただけ進む長く苦しい受験生生活になります。常に自分の方法が間違っていないか、先生や合格者の先輩に聞いて素直に受け入れ、柔軟に吸収することが合格への近道だと思います。

最後に、岡山で出会うことのできた多くの方々に改めて感謝申し上げます。そしてこのご縁を大切に、今後とも頑張りたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。